

2023 年度賢材研究会活動報告

清水建設株式会社 岡田敬一

今年度の賢材研究会の活動を報告します。今年度は、様々な施設見学をした学術交流会(4回)、拡大幹事会(神田川・日本橋川の橋梁見学)、意見交換会を通じて異業種メンバーとの交流を深めさせていただきました。非常に勉強なり、ありがとうございました。また、微力ながら幹事会には、すべて参加させていただきました。今年度の活動は皆勤賞です。

新年になり1月1日には「令和6年能登半島地震」が発生しました。被害に遭われた皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げます。建設会社の研究部門に所属、地震のモニタリングシステムを開発研究する私としましては、いざという時、地震直後に建物の安全を確認する「安震モニタリング®」(図1)が普及展開を現在も続けており、このようなシステムが一助になればと改めて思いました。今年度は、システムをさらにローコスト化した「安震モニタリングLT」を新しく展開しました。

安震モニタリングは、建物に設置したセンサによって建物での地震の揺れを検知し、地震直後わずか数分程度で建物の安全性(構造躯体・内外装)を判定して情報表示するシステム

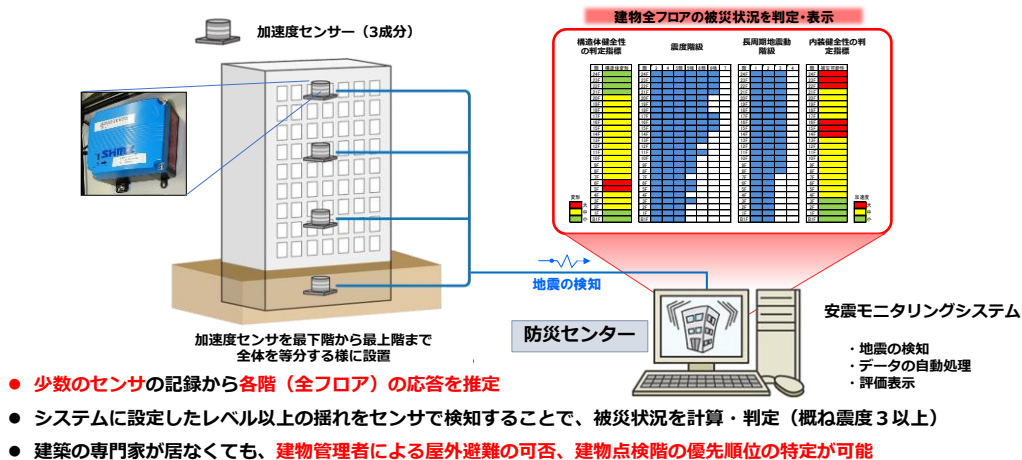


図1 「安震モニタリング」の概略

2023年9月、会社における新たな敷設として、清水建設が「100年後」を見据えたオープンイノベーション拠点「温故創新の森 NOVARE(ノヴァーレ)」を東京都江東区に新設しました。JR京葉線潮見駅のホームからも見渡せる敷地に、核となる施設 NOVARE Hub を中心に、NOVARE Lab(技術研究所)、NOVARE Academy(ものづくり至誠塾)、NOVARE Archives(清水建設歴史資料館)、旧渋沢邸の5施設で構成されています(図2)。社外見学公開は、2024年4月からを始めます。賢材研究会での見学を秋には考えています。



最寄駅：潮見駅（東京駅より京葉線 3 駅 11 分）

潮見駅より徒歩 3 分

- イノベーションのプラットフォーム NOVARE Hub
- 新しい技術革新を生み出す NOVARE Lab
- 人財の育成と技術の継承を行う NOVARE Academy
- 歴史を継承する旧渋沢邸を守るテクノロジー 旧渋沢邸（旧渋沢家住宅）
- 先人たちによるイノベーションとも言える挑戦の歴史展示 NOVARE Archives

詳しくは <https://www.shimz.co.jp/novare/>

図 2 オープンイノベーション拠点「温故創新の森 NOVARE（ノヴァーレ）」